

2020年度研究助成応募状況

2020年度(第54次)研究助成は、募集を1月10日に締め切ったところ32件の応募がありました。応募の内訳は下表のとおりです。

本事業は“広告・広報・メディアを中心とするマーケティングおよびコミュニケーション”分野等の常勤研究者および大学院生を対象に研究助成を行うものです。助成金の給付のほか、助成対象者が利用できる消費者調査を実施します。提出された研究成果は審査の上、優秀な研究に「助成研究吉田秀雄賞」を授与します。

自由課題と指定課題を募集し、今年度は以下3点の指定課題を設定しました。

- ①消費者との効果的なコミュニケーションを行う方法に関する研究
- ②広告・コミュニケーション研究やマーケティング研究の新たな方法論の開発につながる他領域における関連研究
- ③企業・組織のグローバル展開におけるコミュニケーション研究、マーケティング研究

2020年度の助成対象研究は、下記のメンバーによる選考委員会を経て3月の理事会において決定されます。

結果の発表は、4月上旬応募者宛てに直接通知します。

選考委員長	亀井昭宏	早稲田大学名誉教授
選考副委員長	仁科貞文	青山学院大学名誉教授
選考委員	青木貞茂	法政大学教授
選考委員	阿久津聡	一橋大学大学院教授
選考委員	井上哲浩	慶應義塾大学大学院教授
選考委員	岸志津江	東京経済大学教授
選考委員	里村卓也	慶應義塾大学教授
選考委員	澁谷 覚	学習院大学教授
選考委員	嶋村和恵	早稲田大学教授
選考委員	清水 聡	慶應義塾大学教授
選考委員	田中 洋	中央大学大学院教授
選考委員	疋田 聡	東洋大学名誉教授
選考委員	南知恵子	神戸大学大学院教授
選考委員	吉見俊哉	東京大学大学院教授

応募数(前年度比)

応募総数	部門	応募数	助成期間別件数		課題別件数	
			単年研究	継続研究	自由課題	指定課題
32件 (-4件)	常勤研究者の部	20件 (-6件)	8件	12件	3件	5件
					4件	8件
	大学院生の部	12件 (+2件)	11件	1件	6件	5件
					1件	0件

指定課題の内訳

応募数	部門	件数	指定課題別件数	
18件	常勤研究者の部	13件	指定課題①	5件
			指定課題②	7件
			指定課題③	1件
	大学院生の部	5件	指定課題①	3件
			指定課題②	1件
			指定課題③	1件

※指定課題

- ①消費者との効果的なコミュニケーションを行う方法に関する研究
- ②広告・コミュニケーション研究やマーケティング研究の新たな方法論の開発につながる他領域における関連研究
- ③企業・組織のグローバル展開におけるコミュニケーション研究、マーケティング研究

吉田秀雄国際学術賞を新たに制定しました

当財団では、広告・マーケティング分野における研究の振興を目的に、国際的な業績を挙げた研究者を顕彰する「吉田秀雄国際学術賞」を新たに制定しました。過去の当財団の助成対象者の中から、Journal of Marketingをはじめとする当該分野の国際トップジャーナルにおいて論文を発表した研究者を褒賞します。

(1) 受賞対象者

2019年度内(2019年4月～2020年3月)に、以下に指定する国際ジャーナルにおいて論文が受理または掲載された研究者(共同執筆を含む)で、原則として次の要件を共に満たす者

- ・ 当財団が実施する研究助成の「常勤研究者の部」において単独で、またはグループ研究の代表者として助成を受けた者
- ・ 論文が受理および掲載された時点で国内の大学または研究機関に常勤研究者として籍を置く者

(2) 指定国際ジャーナル

- ・ Journal of Marketing (American Marketing Association)
- ・ Journal of Marketing Research (American Marketing Association)

・ Marketing Science (Institute for Operations Research and the Management Sciences)

・ Journal of Consumer Research (Association for Consumer Research)

(3) 申請

受付期間 2020年4月1日～8月31日

申請方法 申請書を記入の上、論文が受理された証憑あるいは掲載誌を添付して以下事務局宛てにご申請ください。

受賞候補者本人による申請を原則とします。

申請先 公益財団法人吉田秀雄記念事業財団

josei@yhmf.jp

(4) 受賞者決定

当財団の選考委員会による審議を経て受賞者を決定します。

(5) 表彰

本賞の表彰は、助成研究吉田秀雄賞贈賞式と同日(2020年11月9日頃)に行い、受賞者には賞状および副賞100万円を贈呈します。ただし同一論文に受賞対象者が複数いる場合、論文1件につき100万円とします。

Editor's Note

金融機関勤務で京都配属となり、その後、起業した知人を思い出した。東京出身の彼は関係づくりに初めは苦勞したが、市中で財界の方々から声をかけられるようになり、さまざまな相談をする関係になった。そして、ある方から起業を勧められ行動した。「京都赴任がなければ、起業していなかった」と語る理由がわかる気がした。(傾)

関西圏は、各地域が独自の歴史と文化をもとに発展しており、連携のイメージに結び付かなかった。今回の対談から、「関西か東京か、という場合ではない。世界市場の競争は急を要している」ということを学んだ。関西からの価値の共創に期待。(葡萄)

マーケティング分野のトップ4と呼ばれるジャーナルで論文を発表した研究者を顕彰する褒賞制度が始まります。多くの研究者にとって遥か遠くの頂かかもしれませんが、世界を目指す動機付けの一つになればと願っています。(ひろた)

AD STUDIES 2020年3月25日号 通巻71号
公益財団法人 吉田秀雄記念事業財団
〒104-0061
東京都中央区銀座7-4-17 電通銀座ビル
TEL : 03-3575-1384 FAX : 03-5568-4528
URL : <http://www.yhmf.jp>

発行人 岩下 幹
編集長 布施博嗣
編集部 岩本紀子、沓掛涼香
編集協力 プレジデント社
表紙デザイン 八木義博+畠山大介、中谷晴子(Creative Power Unit)
撮影 片村文人

本文デザイン 南 剛(中曽根デザイン)
校正 株式会社ヴェリタ
印刷・製本 大日本印刷株式会社

©公益財団法人 吉田秀雄記念事業財団
掲載記事・写真の無断転載を禁じます。